

グローバル人材育成プログラム に参加して

佐々木 大 介

Daisuke SASAKI

環境ソリューション工学科 3年

1. はじめに

私は2015年8月13日から8月31日までの19日間にわたり、アメリカのカリフォルニア州で実習をさせていただきました。初めの3日間は企業訪問やキャリアセミナーを行いました。その後2週間ホームステイをしながら、企業研修を行った後、帰国前日には国際交流イベントとしてBBQを行いました。

2. 志望動機

私がこのグローバル人材育成プログラムを選んだ理由は、最近ではよく「グローバルな視点」や「グローバルな考え方ができる人が社会では求められていること」をよく耳にし、グローバルな人材とはいったいどういう人を指し、どういったスキルを持ち合わせているのだろうかと思ったことがきっかけです。そしてグローバルな人材とは何かを理解し、それに近づきたいと思い参加しました。また、普段とは何もかも違う環境下にあえて身を置くことで、現在の自分に何が不足しているのかを明確にし、今後取り組むべき課題を発見しておきたいと思いました。

3. 目的

私は渡航するにあたって以下のことを目標としました。グローバル人材とはどういった人を指し、その意義を理解すること、文化、価値観の違いを理解し、尊重できるようになること、受け身にならずに積極的に行動、失敗から学ぶ姿勢を身に着けることです。本プログラムでは、多くの方と出会う機会があるので、少しでも疑問に思ったことを話すことか

ら行動を起こしていこうと思っていました。

4. 企業訪問

私たち実習生が見学、訪問をしたのは、Intel Museum, Avago Technologies, Computer 博物館, Face Book, Plug & Play, Google です。Avago Technologies では現地で働いている日本人の方の経験談や日本とアメリカの就職の違いを聞くことができたり、研究室の中を見学することができたりと非常に貴重な経験をすることが出来ました。また、Plug & Play は起業をする意欲の高い人たちが世界各国から集まって、プレゼンテーションなどを通じて大手企業などにアピールし、支援を得る活動を行っている場所で、そこでは現役の大学生の方も多く活動され、非常に刺激を受けました。

5. 実習内容

私は、Areden Wood Historic Farm という公園で2週間研修させていただきました。研修内容は主にガーデニングで、公園で実施するプログラムのお手伝いもさせていただきました。ガーデニングの研修内容は、枯葉の切断、植物の植え替え、水やり、公園内の整備です。多くの人々が観光に訪れる公園であるので景観を守るため花壇にある枯葉を切断するという作業をしました。また、より植物の成長を促進させるため、その花壇の周辺に生えている雑草を抜く作業もしました。場所によっては植物が生えていない、または虫に食べられてしまった植物も多々あったのでその植物の植え替え作業もしました。植え替え作業では周りに生えている植物についても注意する必要があり、間隔が空きすぎたり、狭すぎたりすると植物間での競争が起こってしまい、成長が遅くなったり、成長してもあまり大きくなならないことが多くなったりするので注意しながら作業を行いました。

公園のプログラムとして、目の不自由な方々がヒツジからとれる毛とそのほかの繊維を比べる体験や、乾燥させたコーンの粒をはぎ取る体験、ヒツジ

とヤギと触れ合う体験と一緒に参加し、職員さんの補助をさせていただきました。目の不自由な方には、ジェスチャーが使えないので的確に英語を話すことが課題になりました。思っていた以上に英語だけで物事を表現するのは難しく、なかなか思うようにはできませんでした。しかし、実際に手をとってゆっくりと確かめるように、目の不自由な方の気持ちを考えながら説明をしていくと、最終的には分かってくださったのでよかったです。

6. 実習を終えて

2週間の研修を振り返ってみると、すごく充実したいい経験ができたと思いました。ガーデニングの経験がなく、初心者でしたが自分なりに工夫して作業できたと思います。ガーデニングの知識が全くなかったので、水やりの頻度や量の調整、雑草の見分け方などが難しかったです。公園の中でも、日の当たりやすい場所や比較的气温が低いところ、虫が多いところなど自然環境が一様でないなと肌で感じることが出来ました。ガーデニングにはそういった教科書では学べない肌で感じる事が大切になってきますので、植物だけでなく、周りの自然環境にも目を向ける必要がすごくあると感じました。こうした広大な歴史のある公園で研修することで、環境を守りたい、保全したいという気持ちが強くなりました。公園には幼稚園、小学生の子供たちが遠足に来ていたり、家族でピクニックしに来ていたりしていました。そこには、来られている人々みんなが笑顔で楽しんでいる姿があり、私ももっとがんばろうと力が出てきました。また、ランチタイムの時に職場の方が、「遊びに来るみんなの笑顔がモチベーションになり、日々のエネルギーになる」とおっしゃっていたことに共感しました。自然は人を笑顔にさせ、人が自然を作るのだなと感じました。大学でも自然の保全や生物多様性の重要性を勉強し、人々の自然への働きかけを増やすことが今後の課題であると習いました。そうするためには公園などの自然が

多い場所へ出かけ、自然の働きかけにふれることが大切で、多くの人がそうした機会をもつようにすると自然を守ろう、きれいにしようと思う人が増えてくるのではないかと感じる事が出来たので、そのことを発信していけたらいいと思います。

7. ホームステイ

私は過去に一度もホームステイの経験がなく、今回が初めての経験ということもあり、とても緊張しました。しかし、ホストファミリーの方はすごくやさしくて、食事や体調面に気を使っていたのおかげで問題なく過ごすことができました。また、休日には観光地やショッピングモールに出かけたりと、すごく有意義な時間を過ごすことができました。英語はあまり得意ではなかったのですが、ジェスチャーを使ったりして、何とか会話はでき、相手に伝える意志をもつことが大事であると思いました。ホストファミリーの方には感謝の気持ちを満実に言い表せずに2週間のホームステイが終了してしまっただけで、もっとしっかりと英語を勉強して感謝の気持ちを言い表せたらなと思います。

8. おわりに

今回の渡航の目標としてグローバル人材の意義を理解することを掲げましたが、「他者を理解し、尊重できる人間であり、また自分自身の基準を周りの人よりも高く設定できる人。」であると考えてことが出来ました。また、この2週間で、グローバル人材に少し近づけたように思います。ただし、積極性に関しては、まだまだ足りなかったように思いました。さらに今回の渡航で自分の英語力のなさを、身をもって体験することができ、世界中の多くの人に思いを伝え、相手の考えを理解するためには英語力が必要であることを学びましたので、今後も語学の勉強を勉強していこうと思いました。さいごに、快く受け入れてくれたホストファミリーや職場のみなさんに心よりお礼申し上げます。